

市長の

いけだ Diary



池田市長 瀧澤 智子

春陽麗和の好季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。本市では2月28日から3月議会が始まりました。この3月議会では、令和4年度に実施する事業内容について、市議会議員の皆さまに審議をしていただきます。1年分の事業予算の審議になりますので、夜遅くまで審議が行われるのがこの時期の光景です。

今回は、人・まち・未来を育てる「共育のまち池田」に向けた、令和4年度の重点事業案をご紹介します。

まず、「人を育てる」ですが、子育て世代の皆さまに向けては、保護者が安心して働くことができる環境をつくるために、留守家庭児童会運営体制の強化と、養育費や面会交流の機会の確保など、ひとり親家庭の支援を行います。また、子どもを安心して産み育てられるように、産後ケア事業も拡充し、病院や助産院での宿泊や通所によるサポートを行います。学校においては、支援教育の体制を強化するために、支援教育チームコーディネーター教員を配置します。シニア世代の皆さまには、健康への意識を高め、その維持と増進につなげていただくために、各地域の会館などで体の

ミニ計測会（脳の健康チェック、血管年齢計測、バランス測定など）と運動や食事の指導を実施します。かねてから私は、健康寿命延伸への取り組みが大変重要だと考えています。

次に、「まちを育てる」に目を向けますと、各地域のまちづくりとして、昨年度に引き続き、細河地域の特色を生かした農園芸を軸とする地域拠点づくりを進めます。石橋地域においては4月に「ツナガリエ石橋」が、池田地域においては6月に市民活動交流センターがオープンします。また、事始めのまちとして都市型ワーケーションの取り組みを進めます。皆さんは、ワークとバケーションを合わせた「ワーケーション」という言葉を聞かれたことはありませんか？ 今、新型コロナウイルス感染症の影響で、旅のかたちも変化しています。この都市型ワーケーションは、起業家精神が学べる施設や歴史ある植木産業を有し、都心や空港などからのアクセスも良いという池田の強みを生かした、本市ならではの取り組みです。そして、先日無事に世界最高齢の飼育されたウオンバットとして、「ワイン」がギネス世界記録™に認定されました！ これを契機に、五月山動物園のリニューアルに向けた計画やウオンバットをPRする取り組みを進めます。

最後に、「未来を育てる」のひとつとして、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、地球温暖化防止実行計画を改定します。

これらを審議する3月議会は、3月29日に閉会する予定ですが、その頃には桜の花の便りが届き始めるかもしれませんね。市民の皆さまには引き続き感染症対策へのご協力をお願いいたします。

- 募集 10
- 催し 11
- 税金・保険年金 15
- 産業・仕事 17
- 環境・安全 17
- 相談その他 18
- 福祉 18
- 高齢者 21
- 健康 21
- スポーツ 22
- 子育て 25

目次

2~7	特集 令和4年度 施政方針「共育のまち池田」へ ツナガリエ石橋がオープン
8	市政トピックス 「行財政改革推進プランⅢ」令和3年度中間報告
10~24	市からのお知らせコーナー 募集、催し、税金・保険年金、産業・仕事、環境・安全、相談・その他、福祉、高齢者、健康、スポーツ
25~29	子育て情報 いけ抱っ子
30	池田報道 市民記者が行く！
31	わがまち歴史散歩
32	伝言板
33	市民文化会館の催し
34~38	市政トピックス 後期高齢者医療 令和4年度保険料率／特定健診・健康診査の受診で特別金利が適用／『いなプロ』参加者募集！／移動図書館車「さつき号」が新しくなりました／新型コロナワクチン接種のお知らせ／住民税非課税世帯等臨時特別給付金のお知らせ／65歳以上の市民の皆さんへ 3,000円分のギフトカードを送付／子育て世帯への臨時特別給付／新型コロナウイルス感染症に伴う傷病手当金の支給／全国体力・運動能力、運動習慣等調査
39	くらしの窓口／健康相談Q&A

今月の表紙



4月1日にオープンする「ツナガリエ石橋」の外観を撮影しました。子どもや子育て世代から高齢者まで、全ての世代が交流・活動できる空間を創出し、誰もが利用したいと思える施設になっています。ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

池田市ホームページ
<https://www.city.ikeda.osaka.jp/>

広報 **いけだ**

2022.4